

## 市長施政方針について

### 一般質問



別府 直 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 加西市公共交通総合連携計画に基づく、地域主体型公共交通の導入について、今後は地域が協議して自主運行バス等を導入できるようにするものと解釈してよいのか、また、それはいつごろをめどに考えているか。

**答** 平成25年度の公共交通活性化協議会において、公共交通総合連携計画が改正され、市内の交通不便地域への対応として、地域の特性に即した地域主体型交通の導入をする方針が示されています。これに基づき、各地域のふるさと創造

会議等で検討していただき、可能な限り地域の力を活用することで、より効果的に実現できると考えています。

地域主体型公共交通については、まずは地域の方々、地域の特性や需要を考え、自主運行バス等の選択肢について検討する必要があります。そして、地域の検討結果をもとに、公共交通活性化協議会で実現可能な導入形態について協議していただき、導入手続の運びとなります。可能な限り早期導入を目指していきたいと考えております。

**問** 北条の中心市街地までの乗り入れを認めていただくことが、より多くの地域の方にとって利便性の強化につながり、結果として利用率も高まると考えられる。

今後、地域主体バスについて協議するに当たって、市街地までバスが通ることも視野に入れて計画をし

なければ、「バスは走ったが利用者がふえない」など、利用者の要望からほど遠いものになってしまう恐れがあるが、その点いかがお考えか。

**答** 市内には幹線となる既存の幹線交通機関があり、地域主体型交通の導入に当たっては、それらの維持や発展も考慮した上で、加西全体の公共交通体系を見据えて検討する必要があります。

市民の方々の移動利便性と既存公共交通の有効活用をバランスよく考え、地域の方々へ丁寧な説明と協議を行いながら、最善の形態を見出していきたいと考えています。

#### ■その他の質問項目

- ・ハウス栽培団地について
- ・技術系職員の資質の向上に向けた取り組みについて

## 市川町からの受水について

### 一般質問



黒田 秀一 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 老朽化している市川水系の施設や配水管の更新はいつごろを予定しているか。また、その費用について。

**答** 現在、施設の更新計画を策定中であり、約7年後には整備したいと考えています。市川からの受水3施設については、管路施設を含め、今後約40年間で、約11億円の費用が必要となります。また、今後県水の値下げの状況によっては、より安価に水を買うべく、市川と県水の受水割合も変化するものと考えられ、将来的な水量の減なども視野に入れながら、設備投資をどの程度するかも含め、水道事業全体として今後の仕組みを考えていきたいと思っています。

**問** 釜坂トンネルの事業化についてはどうなったか。また、他によい方法はないのか。

**答** 基本的な方向性や費用対効果から検討した結果、社会基盤整備プログラムにおける県からの回答は、位置的にも整備するのは難しいとのことです。

県道トンネル化以外での対策としましては、仮に、市川町からの受水を継続すると考えると、①水道専用のトンネルを掘る。②市川からの3つの受水施設を統廃合し2つにする。③現状の市川水系の施設を更新し、引き続き給水するという案があります。

しかしながら、市川水系については、今後多額の維持管理費がかかってくるという大きな課題があるため、安定的に安価な水が供給できる体制を整えるべく、水道事業全体として将来を見据えた計画を策定していきたいと考えています。

**問** 加西市は位置的に水を買うことができないが、仮に災害となった場合の対応はどうなっているか。

**答** 市川水系がダメージを受けた場合は、全く水を送ることができないため、今後施設の統廃合も考えながら、県水の水を市川水系へ送れるように整備を検討する必要があると考えています。

また、県水においては、給水元である船津が被害を受けた場合においても、三田水系からの供給が可能であり、また、県水自身のループ化計画もあるため、水の確保という点からは、県水のほうがより安定した供給を図れるものと考えております。

#### ■その他の質問項目

- ・公職選挙法について
- ・鶉野飛行場払い下げについて
- ・トライやる・ウィークについて